

SUWA.R.C WEEKLY

<週報No. 3,003> 3,116 回例会

2023年4月28日(金)

■副会長/小口 泰幸 ■幹事/川村 総一郎

◆司会=五味 武嗣SAA

◆ゲストビジター=本日はいらっしゃいません。

◆出席報告

本日	56.0%	22名欠席
前回訂正	76.0%	12名欠席

◆ラッキーナンバー=No.31 山崎 晃君

◆ニコニコボックス=●加藤明博君・川村総一郎=本日のクラブフォーラムはロータリー情報です。担当会員の方、よろしくお願ひします。●加藤明博君=会長を拝命していながら、欠席ばかりで申し訳ありません。●北川和彦君=今日は出席者が一段と少ないようです。頑張ってお出立しましょう。●山崎晃君=ラッキーナンバーに当たって。

◆会長告知・加藤明博君(小口泰幸副会長代読)=今日はお箸の話をする。日本人は箸に始まり箸に終わる民族です。生まれて間もなく、お食ひ初めで箸を使いそれから幾度となく三度の食事に箸を使い、葬儀ではお骨を箸で拾ひ、お供え物のご飯にはお箸を立てます。はしは、大和言葉で二つの世界を繋ぐ役割を果たすものを意味していると言われております。端と端を繋ぐ橋。高い所と地上を繋げる梯子などはし。お箸も箸先は人の物、頭の部分は神様のものと考えられていました。又自分専用のお箸を決めて食事をするのは日本だけの風習です。他のお箸文化の国、中国、韓国、ベトナム、タイ、シンガポールなどでは見られない風習です。古来、日本では唾液が付くお箸には、使った人の魂が宿ると信じられていました。お箸は自分の分身、という事です。神様とつなぐ役割のあるお箸だから、共有して使うのではなく一人ひとりの専用のお箸を使うようになったとの事です。又世界でお箸を使う国はどこかについてですが、手掴みで物を食べる文化圏は全世界の44%で、東南アジア、中近東、アフリカなどです。ナイフ、フォークを使用するカントリー文化圏は世界の約28%、ヨーロッパ、アメリカ、ロシアなどで、お箸を使う文化圏は世界の28%で日本、中国、韓国、ベトナム、タイ、シンガポールと言われ、意外にも東南アジア一帯に広がっています。お箸を使う国は少ないと思っておりましたが、ナイフ、フォークを使用するカントリー文化圏と同じ28%です。その中でもお箸文化圏とはいえ、お箸とスプーンをセットで使うスタイルが大半で、お箸のみで食事をするスタイルは日本独自のものです。中華料理はレンゲを使いますし、韓国料理も金属のスプーンを使いますね。日本はただ一つの完全お箸文化圏なのです。皆さんもお家に帰られたら、ご自分のお箸を大事に使って下さい。お箸にまつわる仏教の話に三尺三寸箸と説話があります。これは地獄での食事は大変豪華なのですが、箸が三尺三寸、これは約1メートルくらいですが、余りにも長くて自分の口に豪華な食事が入れないため、皆やせ細っており、お腹を空かせていら立っているため、争ひ事が絶えない。極楽にも豪華な食事と長い箸がありますが、地獄と違うところは、箸で物をつまんだら、お互

いが隣に居る人に食事を食べさせてあげる。なので、極楽では皆がお腹を満たしているため、争ひごとが起きない。同じ環境であっても、お互ひが助け合うと素晴らしい世界になるといった教えですね。何かロータリーの精神と繋がるような気がします。

◆幹事報告・川村総一郎君=①先週の諏訪湖RC合同夜間例会は当クラブより20名、諏訪湖クラブより16名、アクトクラブより2名、合計38名の方にご参加をいただき、盛大に開催されました。色々ご手配頂いた親善・クラブ親睦委員会の皆様、おいしい料理を出していただいたのはん様、誠にありがとうございました。本日の例会はクラブフォーラム「ロータリー情報」です。八幡ロータリー情報委員長、後ほど卓話宜しくお願ひ致します。

②来月5月19日はゴルフ例会になりますが、当日の点鐘時間についてお願ひがござひます。その日諏訪湖カントリーは大きいコンペが入っているそうです。スタート時間の都合等により点鐘時間を例年より50分早い10時40分とさせていただきます。宜しくお願ひ致します。

◆クラブフォーラム●ロータリー情報・八幡一成君・三井章義



君=今年度のロータリー情報委員会は三井章義さんと私八幡で担当しております。ロータリー情報委員会の事業計画はクラブ計画書にありますように、「会員候補者にロータリークラブ会員の特典と義務に関する情報を提供し、会員にあらゆるレベルのロータリーの歴史、綱領、活動に関する情報を提供し、入会してからの最初の1年間、新会員のオリエンテーションを監督する」こと

で、私にとってはとても荷が重い内容です。新入会員の方々には入会前に事業所を訪問し、ロータリーについて説明をさせていただきました。そして、今日の担当例会によってロータリー情報委員会の責務の一部分を果たせればと思っています。今日は規定審議会について下記の項目でお話しします。

1. 規定審議会とは(八幡)
2. 2022年規定審議会の概要(八幡)
3. 2022年規定審議会に変更された内容(八幡)
4. 規定審議会の感想(三井)

今日使う資料の作成にあたっては、国際ロータリーや日本国内の各地区各クラブなどのウェブサイトと雑誌ロータリーの友などから情報を集めてきました。

1. 規定審議会とは

規定審議会はロータリーにおける唯一の立法機関として国際ロータリー(RI)定款第9条に規定されています。3年に1度開催され、ロータリーの組織規定に変更を加える制定案と、RI理事会の見解を表明する見解表明案について審議と投票が行われます。ロータリーの組織規定は、国際ロータリー定款、国際ロータリー細則、標準ロータリークラブ定款の3つです。ロータリークラブはこの三つを守ることが義務付けられています。標準ロータリークラブ定款については、すべてのクラブは、今後のあらゆる改正を含め、標準ロータリークラブ定款を採用するものとする、との規定がRI細則第2条にありますので、世界中のロータリークラブは同じ定款に沿ってクラブ運営がなされています。諏訪ロータリークラブ定款は、「クラブ

の名称を「誼訪ロータリークラブ」、「クラブの所在地を誼訪市」として書き加え、その他の条文は標準ロータリークラブ定款をそのままにクラブ計画書に掲載されています。クラブ細則は標準ロータリークラブ定款に反しない限り、クラブの実情に応じて制定されます。規定審議会の開催時期は4月、5月、6月のいずれかで4月が望ましく、開催場所は国際ロータリー本部近郊と決められています。国際ロータリー本部はアメリカ・イリノイ州エバンストンにありますので、2001年以降はその近くのシカゴで行われていて、全世界の各地区から1名の代表議員が出席することになっています。

2. 2022年規定審議会の概要

2022年に行われた規定審議会は4月10～14日にアメリカ・イリノイ州シカゴで行われました。新型コロナの感染拡大を受けて、対面参加とバーチャル参加のハイブリッド方式で実施され、参加者数は世界の各地区から522名が参加し、そのうち対面参加は324名、バーチャル参加は198名でした。日本には34地区ありますので、34名の代表議員が参加し、そのうち対面参加は9名、バーチャル参加は25名でした。第2600地区の代表議員は宮坂宥洪パストガバナーであったと思います。また、戦時下にあるウクライナから代表議員ヘナディ・クロイチック氏が対面参加されていて、メータRI会長が紹介すると場内の出席者から総立ちの拍手が送られました。審議された制定案数は94件で、そのうち採択が29件、否決51件、撤回13件、無期限の延期が1件でした。決定された内容は2022年7月1日より有効となっています。

3. 2022年規定審議会で変更された内容

お配りした資料の「2022年規定審議会 クラブと地区に関する重要な変更」には、採択された29件の制定案のうち、21件が記載されていますが、今日の例会でそのすべてを紹介することはできませんので、私が気になった項目についてお話しさせていただきます。それ以外の項目についてはお配りした資料をご覧ください。

●出席：報告

クラブが地区ガバナーに月次出席報告を提出する義務は廃止されました。(22-85)

●出席：出席規定の免除

次の要件が満たされた場合、会員が出席規定の免除を受けるためにクラブ理事会の承認を必要としないことが明確になりました。「一つまたは複数のロータリークラブのロータリー歴と会員の年齢の合計が85年以上であり、少なくとも20年のロータリアン歴があり、出席規定の適用を免除されたい希望を、書面をもって、クラブ幹事に通告した場合」(22-92)

●奉仕部門：平和

標準ロータリークラブ定款の第三奉仕部門が次のように改正されます。「奉仕の第三部門である社会奉仕は、地域社会における積極的平和を目指すことにより、クラブの所在地域または行政区域内に居住する人々の生活の質を高めるために、時には他と協力しながら、会員が行うさまざまな取り組みから成るものである」。ロータリーのパートナー団体である経済平和研究所は、「積極的平和」を「平和な社会を作り、維持するために必要な行動・姿勢、組織、構成」と定義し、その要素には、「良好なビジネス環境、資源の公平な配分、情報の自由な流通、高レベルな人的資本、他者の人権の受容、低レベルの腐敗/汚職など」が含まれます。(22-78)

●クラブ財務：クラブ人頭分担金の増額

よりよい支援をクラブに提供するためRI人頭分担金は、2022-23年度には半年ごとに米貨35ドル50セント、2023-24年度には半年ごとに米貨37ドル50セント、2024-25年度には半年ごとに米貨39ドル25セント、2025-26年度には半年ごとに米貨41ドルとなります。(22-46)

●地区：試験的プロジェクト

試験的プロジェクト:RI理事会は、影響を受ける全地区による承認を得ることを条件として、RIBIおよび/またはオーストラリアとニュージーランドを含むゾーン内のクラブの管理方法として試験的プロジェクトを創設できます。(22-71)

●会員：公平さとインクルージョン

すべてのロータリークラブとローターアクトクラブが構築に努めるべき「バランスの取れた会員基盤」の定義の一部として、多様性に加えて公平さとインクルージョンが追加されました。(22-10)

●会員：所在地域

会員がクラブの所在地域に住居または事業場を有するという要件が廃止されました。(22-13)

●クラブの規則：文言の現代化

標準ロータリークラブ定款の文言が自然かつ読みやすくなるよう、現代化かつ簡素化されました。これによる方針への実質的な変更はありません。全クラブでの採用が義務づけられた新しいバージョンをダウンロードいただけます。(19-30 および 19-116)

●会員増強：職業分類

職業分類の制限が廃止され、特定の職業分類の会員の適切な数をクラブが自ら決定できます。さらに選挙または任命によって公職にある人も、その職務と関連する職業分類を使ってクラブに入会できます。(19-37 および 19-39)

4. 規定審議会の感想

2004年の規定審議会に出席したのですが、6月13日～18日の6日間、8:30～17:00までみっちり行われますので朝ごはんもそこそこに会場にかけつけてあとは17:00まで缶詰めです。シカゴのマリオットダウントウンホテルで開催され、世界中から542の地区から1名ずつの代表議員が参加で国際ロータリーの役員をしたことがないといけなことが要件になっております。524案件をものすごいスピードで審議をされ、制定案が51件、決議案49の合計100件でした。

◆今後の例会日程

5/5(金)	法定休日
5/12(金)	クラブフォーラム 関係団体活動報告
5/19(金)	誼訪湖CCでのゴルフ例会
5/26(金)	クラブフォーラム 新入会員卓話(小林会員)

